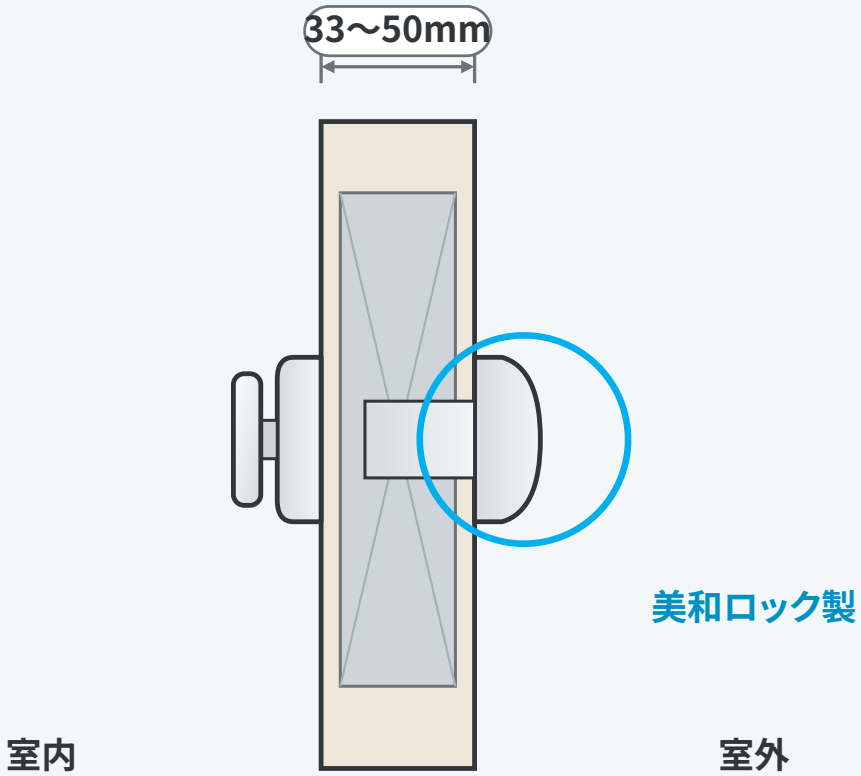


INSTALLATION GUIDE

PiACK II の取り付け（本締錠）

本締錠の室内側サムターンを外し、PiACK II の室内機とオートロックセンサーを取り付けるまでの手順です。美和ロックの LA / DA 系と LSP / TE 系で、サムターンの外し方とネジが異なります。

MODELS
PiACK II

DOCUMENT NO.
KV-H03

REVISED
2026年11月6日

WEB MANUAL

ABOUT THIS GUIDE

このマニュアルについて

本締錠の室内側サムターンを外し、PiACK II の室内機とオートロックセンサーを取り付けるまでの手順です。美和ロックの LA / DA 系と LSP / TE 系で、サムターンの外し方とネジが異なります。

取り付け　PiACK II Smart

目安時間

約30分

用意するもの

- プラスドライバー
- 精密ドライバー（LA / DA 系）
- ラジオペンチ（LA / DA 系）

始める前に

- 扉勝手（右勝手・左勝手）を確認していること
- 錠前が LA / DA 系か LSP / TE 系かを確認していること
- PiACK II の同梱品がそろっていること

目次

— ご使用上の注意 4
01 取り付けられる扉か確かめる 5
02 同梱品を確認する 5
03 室内側のサムターンを外す 6
04 アダプターを取り付ける 7
05 ブラケットを扉に固定する 9
06 室内機を取り付ける 11
07 オートロックセンサーを取り付ける 12
08 オートロックを確認する 13
付録 よくある質問 14

記号の見方

注意 必ず守ること

守らないと、故障・やり直し・思わぬ動作につながることがあります。

補足 知っておくと役立つこと

作業のコツや、状況によって変わる点を説明します。

図の青い部分

作業する人が行う動きと、注目する場所を青で示します。

手順は改良に合わせて更新しています。最新版は表紙の QR コード、または keyvox.co/manuals/piack-install からご覧いただけます。

SAFETY & HANDLING

ご使用上の注意

安全に、長くお使いいただくための注意事項です。取り付けの前に必ずお読みください。

警告
守らないと、火災・感電・けがにつながるおそれがあります。

注意
守らないと、故障や、解錠できなくなる原因になります。

お願い
長く安心してお使いいただくために。

警告 安全のために必ず守ること

- 本体・AC アダプターを分解・改造・修理しないでください。
- 付属の AC アダプターと専用ケーブル以外は使わないでください。指定の電圧以外で使うと、発熱・故障の原因になります。
- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。ケーブルを傷つける・無理に曲げる・重いものを載せることも避けてください。
- 煙が出る・異臭がする・異常に熱いときは、すぐに電源（AC アダプター・電池）を外し、サポートへご連絡ください。
- 電気錠・自動ドアの制御盤への配線は、電源を切った状態で、電気工事の知識のある方が行ってください。

注意 非常時の備え

- 電池切れ・停電・通信の不調・故障に備えて、物理鍵などの非常用の解錠手段を必ずご用意ください。物理鍵は室内に置いたままにせず、すぐ取り出せる場所で保管してください。
- 電気錠・自動ドアでは、解錠できなかった場合の解錠方法（非常用の解錠ボタンなど）を、メーカーまたは施工店と相談のうえご用意ください。
- 管理者暗証番号は第三者に知られないように管理し、初期の番号のまま使わないでください。

注意 設置する場所

- 仕様に記載の温度・湿度の範囲で、直射日光が当たらず、結露・氷結しない場所に設置してください。
- BR1・WD1 には防水性能がありません。屋内に設置するか、屋外では防水ボックスに収めてください。
- QR1 LE・BX1 は防水（保護等級5）ですが、水没や高圧洗浄には耐えません。BX1 の防水は扉を閉じた状態に限ります。
- Bluetooth・Wi-Fi は、金属の扉・コンクリートの壁・分電盤などで弱くなります。機器どうしは見通し 2m 以内を目安に設置してください。
- 電子レンジや他の無線機器の近くでは、通信が不安定になることがあります。

注意 電池について

- 新しい単三形アルカリ乾電池を使い、＋と－の向きを確かめて入れてください。
- 新旧の電池、種類やメーカーの違う電池を混ぜて使わないでください。交換するときは全部を同時に替えてください。
- 電池残量の通知が届いたら、早めに交換してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。
- 液漏れした電池には素手で触れず、拭き取ってから新しい電池に交換してください。

お願い 日常のお手入れ

- 汚れは、乾いたやわらかい布か、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。
- シンナー・ベンジン・アルコールなどの溶剤や、研磨剤は使わないでください。表面や文字が傷みます。
- QR コードの読み取り窓とキーパッドは、汚れや水滴が付いたままにしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

お願い ご利用にあたって

- ファームウェアとアプリは最新の状態でお使いください。動作の安定化や不具合の修正が含まれます。
- 機器を譲渡・廃棄するときは、アカウントから機器を削除し、初期化してください。
- 廃棄するときは、電池を取り外し、お住まいの自治体の区分に従ってください。
- 保証の期間と条件は、製品に同梱の保証書をご確認ください。

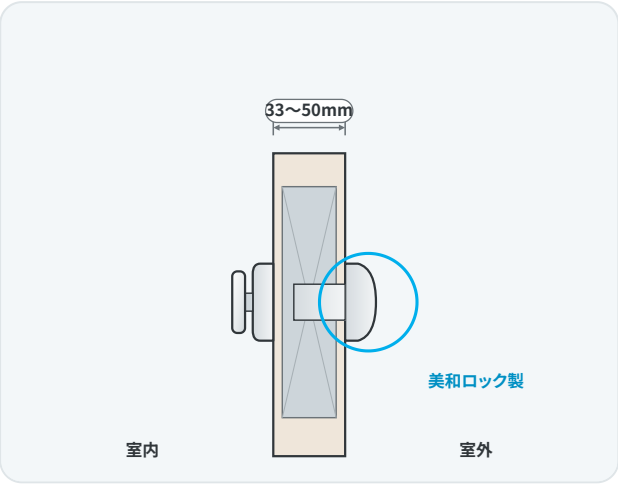
STEP 01

1 取り付けられる扉か確かめる

1.1 錠前と扉の条件を確認する

1. 錠前が美和ロック製で、シリンダーが U9 / UR / PR / JN のいずれかであることを確認します。
2. 扉の厚さが 33mm 以上 50mm 以下（41mm・49mm を除く）であることを確認します。
3. 扉の表面にモールなどの凹凸がなく、室内機を当てられる平らな面があることを確認します。

> **補足** 対応する錠前: LA / LAF / LEF / LE / MA / LD / DA / DAF / LSP / TE / BH / DZ / プッシュプル錠。長座付きの錠前や、木製扉では取り付けられない場合があります。



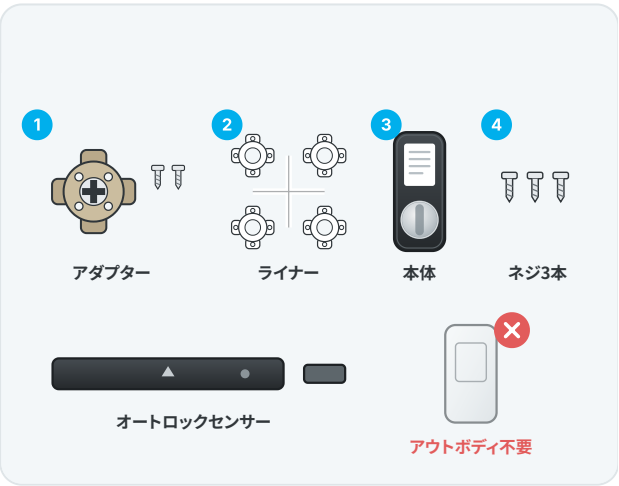
STEP 02

2 同梱品を確認する

2.1 使う部品をそろえる

1. アダプターとネジが入った袋（①）を用意します。
2. 白い部品（ライナー）が入った袋（②）を用意します。
3. 室内機の本体（③）と、3本のネジが入った袋（④）を用意します。
4. オートロックセンサー（細い棒と小さい磁石）と、単三電池4本・単四電池2本を用意します。

> **注意** フロント（アウト）ボディは使いません。室外側には QR1 を取り付けます。



STEP 03

3 室内側のサムターンを外す

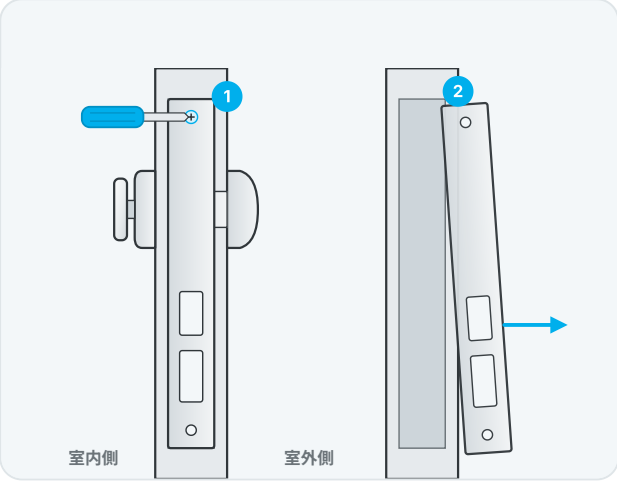
錠前の系統によって外し方が違います。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **LA / DA 系**

3.A1 扉の側面のプレートを外す

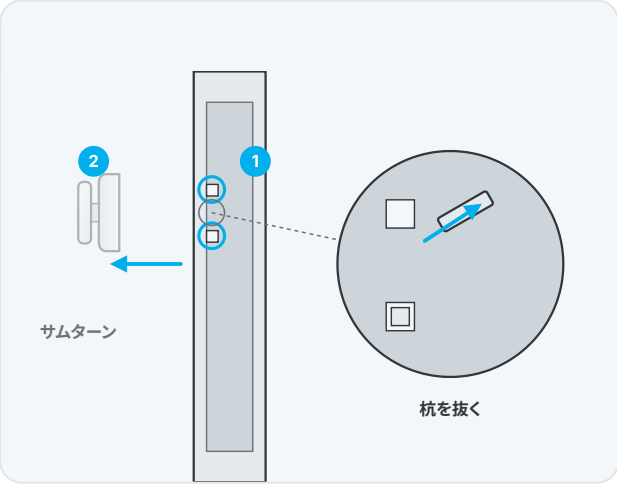
1. 扉の側面（錠前のフロント）のネジを外します。
2. 側面のプレートを引き抜いて外します。



3.A2 杭を2本抜いてサムターンを外す

1. 室内側にある2本の杭を確認します。
2. 精密ドライバーで杭を起こし、ラジオペンチで引き抜きます。
3. 室内側のサムターンを手前に引いて外します。

> ⚠ **注意** 抜いた杭はアダプターの固定に使います。なくさないように保管してください。

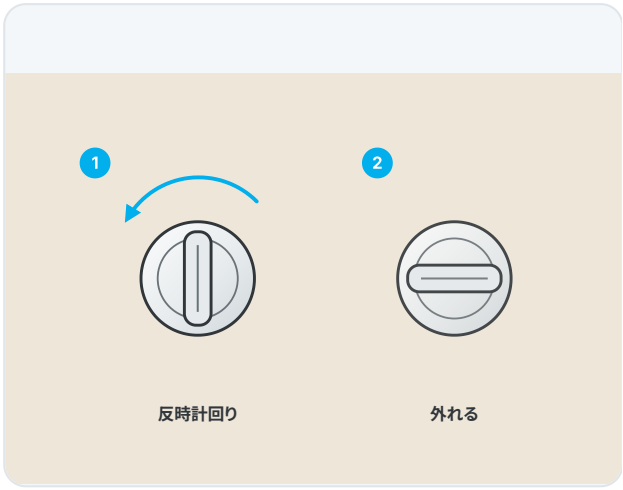


B PATTERN **LSP / TE 系**

3.B1 ネジ穴が無い場合は、回して外す

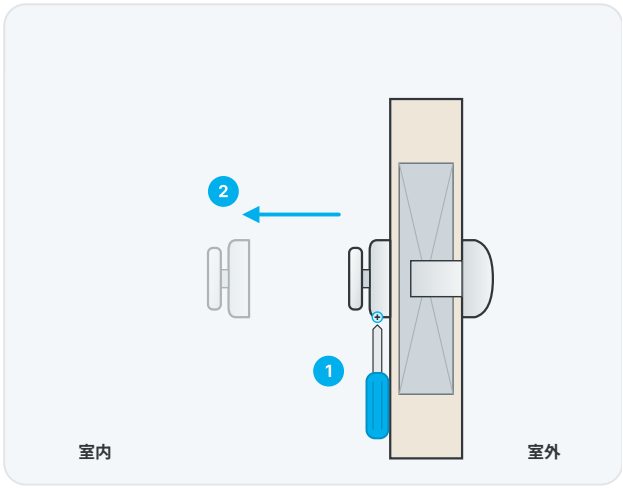
室内側のサムターンを反時計回りに回すと外れます。

> ⚠ **注意** 室外側のシリンダーも外れて落ちます。外側を手で押さえながら作業してください。



3.B2 ネジ穴が有る場合は、ネジを緩めて外す

サムターンの台座の側面にあるネジを緩め、サムターンを引き抜きます。

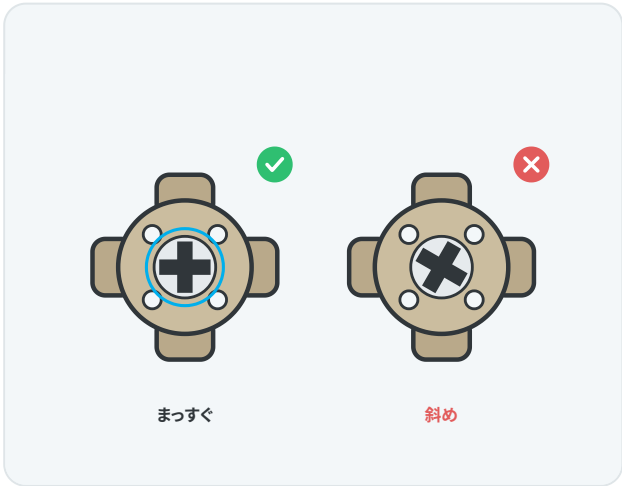


STEP 04

4 アダプターを取り付ける

4.1 十字軸部をまっすぐにして差し込む

アダプター（①の袋）を、サムターンを外した穴に差し込みます。十字軸部が斜めになっていると正しく入りません。

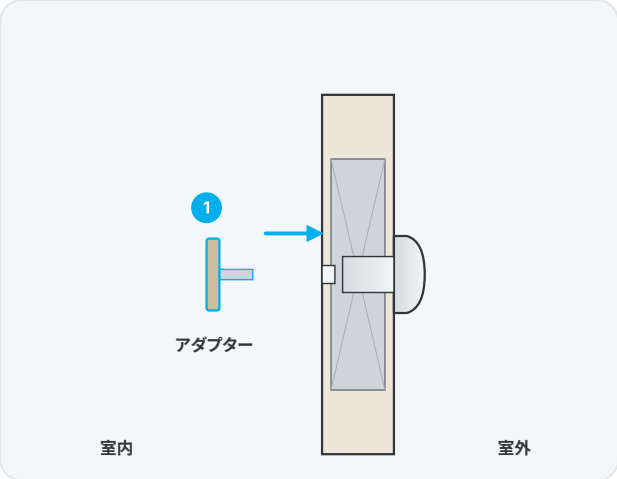


設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN LA / DA 系

4.A1 杭を戻してアダプターを固定する

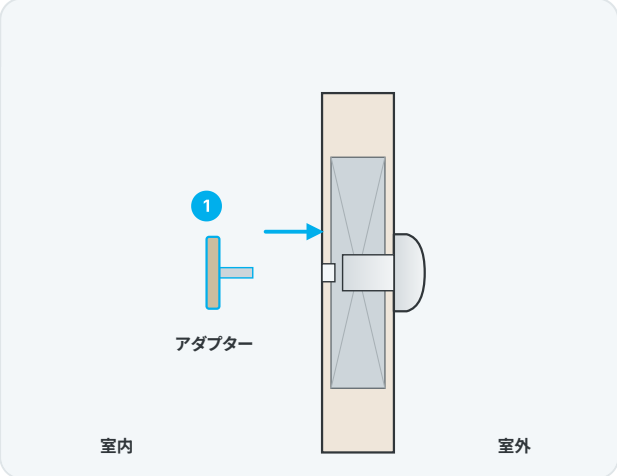
1. 外した2本の杭を、扉の側面から差し込みます。
2. アダプターを引いても外れないことを確認します。
3. 側面のプレートを元どおりにネジで止めます。



B PATTERN LSP / TE 系

4.B1 アダプターを差し込む

LSP / TE 系では杭はありません。アダプターは次の章でブラケットと一緒にネジで固定します。

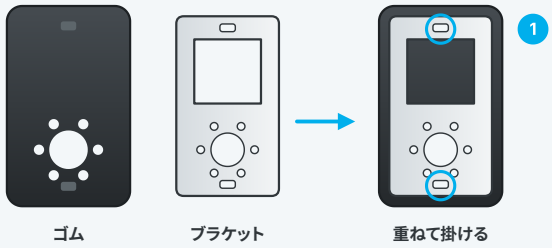


STEP 05

5 ブラケットを扉に固定する

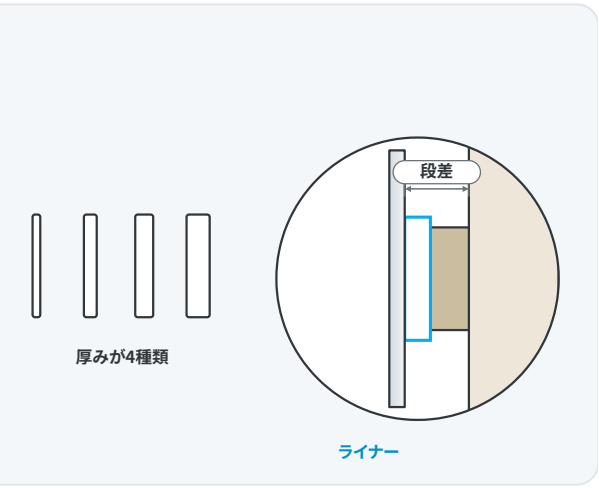
5.1 本体からブラケットとゴムを外して重ねる

1. 本体の裏側から、ブラケット（金属のプレート）とゴムを外します。
2. ゴムの上にブラケットを重ねます。
3. ゴムの突起を、ブラケットの穴に引っ掛けます。



5.2 ライナーを選ぶ

白い部品（ライナー）は4種類あります。扉の面とアダプターの段差の厚みに合わせて、1つ選びます。

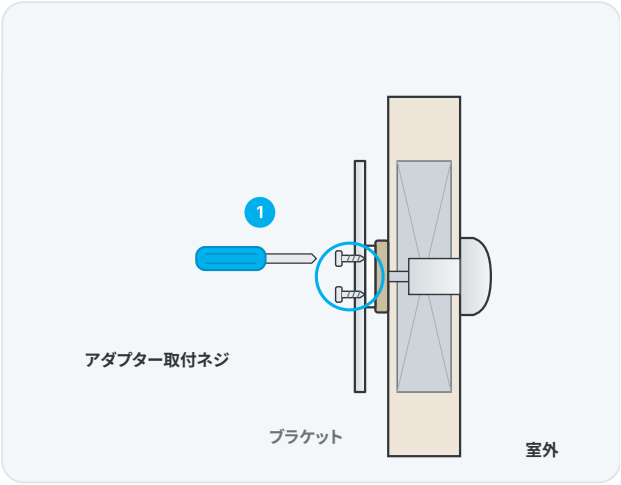


設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN LA / DA 系

5.A1 アダプター取付ネジで止める

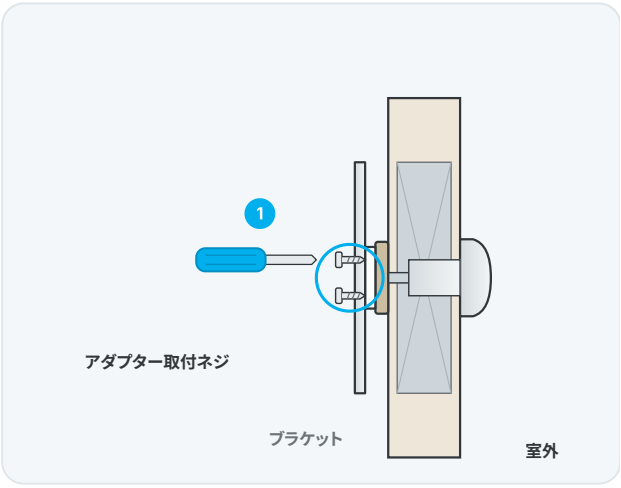
1. ブラケット・ライナー・アダプターの順に重ねます。
2. アダプター取付ネジ（M4×12 または M4×16）で止めます。
3. 2種類のうち、締めて問題がない方を使います。



B PATTERN LSP / TE 系

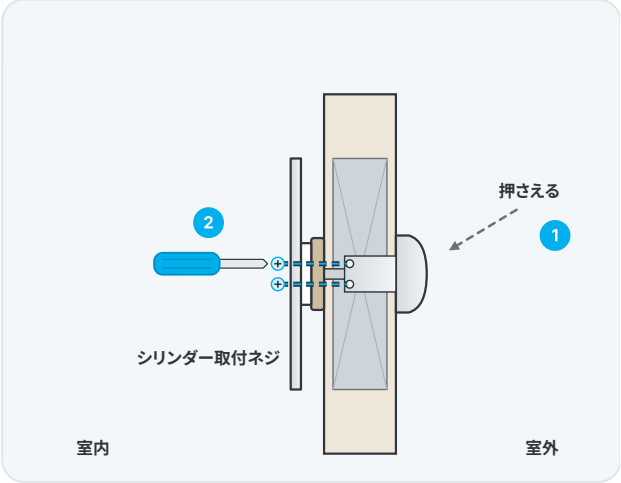
5.B1 アダプター取付ネジで止める

1. ブラケット・ライナー・アダプターの順に重ねます。
2. アダプター取付ネジ（M3×8 または M3×12）で止めます。
3. 2種類のうち、締めて問題がない方を使います。



5.B2 シリンダーを共締めする

1. 室外側のシリンダーを元の位置に当て、手で押さえます。
2. シリンダー取付ネジ（M5×45 または M5×50）の先端を、シリンダー裏の穴に入れます。
3. ネジを締めてシリンダーを固定します。



STEP 06

6 室内機を取り付ける

6.1 電池カバーを外す

本体の電池カバーを、滑り止めの部分を押しながら上へ押し上げて外します。



6.2 本体をブラケットにネジで止める

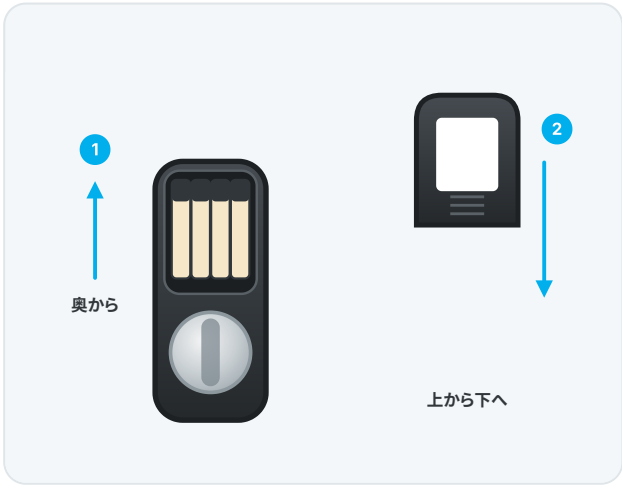
本体をブラケットに当て、④の袋の3本のネジ（上1か所・下の左右2か所）で固定します。



6.3 電池を入れてカバーを付ける

1. 同梱の単三電池4本を、奥から順に入れます。
2. 電池カバーを上から下へスライドして取り付けます。

> **補足** 手前から入れると奥の電池が入りません。



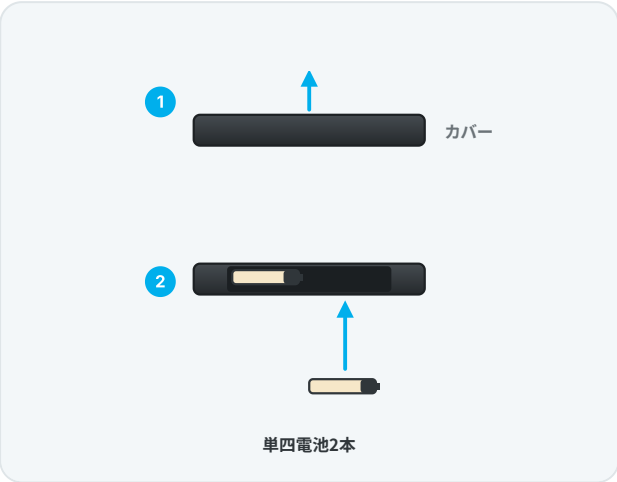
STEP 07

7 オートロックセンサーを取り付ける

7.1 センサーに電池を入れる

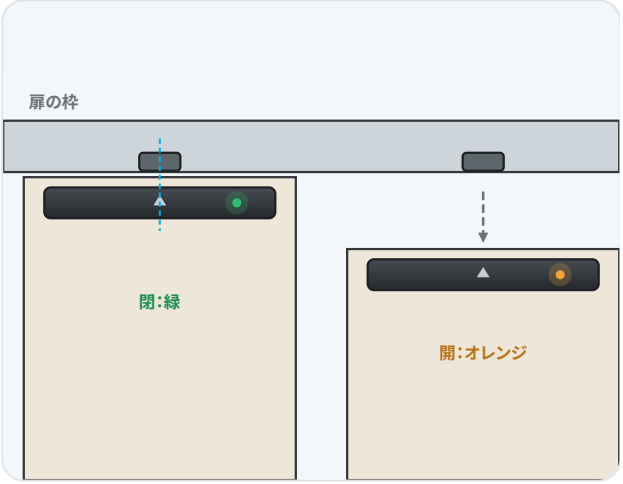
細い棒（センサー本体）のカバーを外し、同梱の単四電池2本を入れてカバーを戻します。

> ⚠ **注意** 無線でつながっている間は、電池を抜いたまま放置しないでください。通信が切れ、ほかの機器の電池の消耗が早まります。



7.2 細い棒と磁石の位置を決める

1. 細い棒と小さい磁石の、どちらかを扉の枠に、もう一方を扉に付けます。
2. 細い棒の▲と磁石の中央をそろえます。
3. 扉を閉めたとき（2つが近づいたとき）に LED が緑になる位置にします。
4. 扉を開けたとき（2つが離れたとき）に LED がオレンジになることを確認します。



STEP 08

8 オートロックを確認する

8.1 扉を閉めて自動で施錠されるか確かめる

1. サムターンを2〜3回まわします（初回はオートロックが効かないため）。
2. 扉を閉めて、自動で施錠されることを確認します。
3. 施錠されない場合は、小さい磁石の向きと位置を調整します。

> ⚠ **注意** サムターンの回る向きが扉勝手と合わない場合は、ご自身で変更せずサポートへご連絡ください。扉勝手の変更はサポートで対応します。



動画で見る

DA 錠タイプへの取り付け	www.youtube.com/watch?v=rqLgBcXTYVc&t=171
TE 錠タイプへの取り付け	www.youtube.com/watch?v=cVW3UZ7eBo4&t=148s
鍵穴に PiACK II を取り付ける	youtu.be/DVNIthNAXDA

次にやること

KEYVOX Basic を準備する	keyvox.co/manuals/app-basic-setup

APPENDIX — FAQ

よくある質問

このガイドの内容に関わるご質問です。すべての質問は Web 版（keyvox.co/manuals/faq）に掲載しています。

解錠できないとき

Q PiACK II Smart からブザー音が鳴ります。

PiACK II は、LED の表示とブザーの鳴り方で状態を知らせます。製品に同梱の取扱説明書の「LED 表示・ブザー鳴動による状態通知一覧」で、鳴り方に合う状態をご確認ください。

SUPPORT

手順でわからないことは、
サポートまでご連絡ください。

取り付け後の確認のご依頼や、機器の動作でお困りのときも、サポートポータルからお問い合わせいただけます。

サポートポータル

お問い合わせ・取り付け確認のご依頼

support.keyvox.co

Web 版マニュアル

最新の手順・PDF のダウンロード

keyvox.co/manuals

・本書の内容は改訂日時点のものです。製品の改良により、仕様・画面・手順は予告なく変わることがあります。
・本書の図はイラストです。実際の製品と細部が異なる場合があります。
・記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

keyvox
ブロックチェーンロック株式会社

KV-H03　REV. 2026.11.06
© 2026 ブロックチェーンロック株式会社